

～明るく住みよいまちづくり～

会津若松市

# 区長会会報

2026年(令和8年)2月1日 №.90



▲令和7年11月14日

会津若松ワシントンホテルにて会津若松市  
区長会創立70周年記念式典等を開催

◀記念講演では会津若松市観光大使の  
大林素子様にご講演いただきました

会長あいさつ	P 2
令和7年度 事業内容・計画	P 2
令和7年度 収入支出予算	P 2
表彰	P 3
部会紹介	P 4～5

各地区の活動紹介	P 6～10
役員紹介	P 10
編集後記	P 10
区長会会報第90号編集者	P 10



## 会長あいさつ

会津若松市区長会

会長 成田 源一郎

区長会会報第90号の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平素より、皆様におかれましては、本会活動に対しご理解・ご協力・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、本会創立70周年の記念の年でした。去る11月14日、元バレーボール日本代表選手の「大林素子様」を講師にお招きし、盛大に記念式典及び講演会を執り行いました。

その後、アトラクションにおきましては、会津鶴ヶ城太鼓「若駒会様」に、素晴らしい太鼓の演奏をご披露いただき、70年の月日に思いを馳せると共に、これからのお会いを担う重責に会員一同、身が引き締まる思いであります。

さて、近年、日本各地で災害が頻発し、激甚化しております。本市においても例外ではなく、昨年2月には観測史上最高の積雪を記録する豪雪に見舞われ、生活に大きな影響を及ぼしました。このようなか、地域においては助け合いながら協力して除雪を行うなど、いかに地域住民同士の助け合いが有事の際に重要なかを感じたところであります。

本会は、昨年も様々な活動を行つてまいりました。活動内容は各部会の部長より報告していただきます。

全国的に地域コミュニティの希薄化が課題となっています。「自助・共助・公助」が挙げられている今、地域住民のつながりは、今後ますます重要となってきます。町内会は、様々な活動を通して住民同士が顔を合わせる機会を創設する、地域に根ざした住民組織であります。「安心・安全」な地域づくりや福祉の向上、更に、災害等の際は地域住民同士で助け合う「互助」として力になつてくれるはずです。

行政をはじめ、様々な団体と連携しながら、地域住民の生活がより良いものとなるよう貢献してまいる所存です。どうか今後とも、皆様方の特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本会では、市民と行政のパイプ役として活動を進めてまいりますので、今後とも皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、第90号会報発行の挨拶とさせていただきます。

### 令和7年度 事業内容・計画

実施月日	事業名
4月~5月	各地区清掃事業(各町内会による)
4月 3日	会計監査
4月 5日	クリーン鶴ヶ城作戦参加
4月 8日	役員会
4月25日	定時総会
5月 8日	正・副会長会議
5月12日	地区会長会議
5月23日	各部会(総務・教養・厚生・産業)
6月25日	教養部会・新任区長研修会
7月 3日	創立70周年記念事業実行委員会
7月 7日	厚生部会・産業部会
7月 9日	総務部会
7月11日	福島県自治会連合会理事会、定期総会、表彰式
7月13日 ~14日	先進都市研修視察
7月28日	役員会、創立70周年記念事業実行委員会
8月27日	役員会、創立70周年記念事業実行委員会
9月20日	会津まつり 会津藩公行列参加
9月29日	神奈川県横須賀市連合町内会視察受入
10月14日	中間会計監査及び次年度予算編成に係る打合せ
10月17日	産業部研修会
10月23日 ~24日	全国自治会連合会全国大会・表彰式
10月25日	環境フェスタ(チャリティーバザー)参加
10月27日	神奈川県小田原市富水地区自治会連合会視察受入
10月30日	市長との対話集会
11月 4日	創立70周年記念事業実行委員会
11月11日	埼玉県八潮市町会自治会連合会視察受入
11月14日	会津若松市區長会創立70周年記念式典等
11月19日	正・副会長会議
11月26日	役員会及び次年度予算編成に係る打合せ
11月27日	栃木県自治会連合会視察受入
12月19日	総務部会
1月 5日	新年市民交歓会参加
1月23日	役員会・役員・各部委員新年会
2月 1日	会報第90号発行
2月	各部会(総務・教養・厚生・産業)
2月	会津若松市における町内会への加入促進にかかる懇談
3月	役員会

### 令和7年度 収入支出予算

(単位:円)				
収入の部				
項目	本年度 当初予算額	前年 度 額	比較増減	説明
1. 会 費	2,008,000	2,012,000	△4,000	4,000円×502町内会=2,008,000円
2. 市 補 助 金	10,278,000	10,307,000	△29,000	
3. 諸 収 入	959,000	971,000	△12,000	
(1)協 力 金	502,000	503,000	△1,000	社会福祉協議会より
(2)預 金 利 子	1,000	1,000	0	
(3)保 険 料	450,000	450,000	0	町内会活動保険料(各町内会負担分)
(4)その他の収入	6,000	17,000	△11,000	区長バッジ等
4. 繰 入 金	150,052	0	150,052	
(1)70周年事業準備金	150,052	0	150,052	
5. 繰 越 金	1,149,665	1,791,393	△641,728	前年度繰越金
収入合計	14,544,717	15,081,393	△536,676	

(単位:円)				
支出の部				
項目	本年度 当初予算額	前年 度 額	比較増減	説明
1. 事 業 費	13,803,717	14,251,393	△447,676	
(1)総 会 費	355,000	281,000	74,000	総会案内等送付代 他
(2)会 議 費	120,000	318,000	△198,000	役員・各部委員委嘱状交付式会場費 他
(3)生活環境整備費	5,980,000	6,608,000	△628,000	麻袋購入費・配布手数料 他
(4)研 修 費	1,392,000	1,817,000	△425,000	新任区長研修会・先進都市研修会
(5)広 報 活 動 費	446,000	208,000	238,000	区長会会報印刷代・区長会会報配布委託手数料
(6)報 償 費	225,000	95,000	130,000	額縁、退会者記念品 他
(7)慶 弔 費	40,000	44,000	△4,000	香典
(8)部 活 動 費	211,000	140,000	71,000	部活動費
(9)交 構 費	210,000	217,000	△7,000	会長交際費・新年市民交歓会会費
(10)旅 費	295,000	290,000	5,000	各種会議出席旅費(全国自治会連合会全国大会出席 他)
(11)保 険 料	1,200,000	1,200,000	0	傷害保険料、賠償責任保険料
(12)地区会長事務連絡費	511,000	511,000	0	18地区会長事務連絡費
(13)地区区長会交付金	2,368,000	2,372,000	△4,000	18地区区長会交付金
(14)70周年記念事業費	450,000	150,000	300,000	
(15)雑 費	717	393	324	
2. 事 務 費	741,000	830,000	△89,000	
(1)消 耗 品 費	140,000	150,000	△10,000	事務用消耗品
(2)通 信 費	370,000	257,000	113,000	郵便代・携帯電話通信料 他
(3)印 刷 費	104,000	100,000	4,000	区長会封筒印刷代
(4)手 数 料	34,000	230,000	△196,000	振込手数料 他
(5)負 担 金	93,000	93,000	0	福島県自治会連合会会費 他
支 出 合 計	14,544,717	15,081,393	△536,676	

# 表彰

区長として市政発展に寄与するとともに、本会発展のために尽力された次の方々が令和7年4月に表彰されました。

市長表彰

- 10期以上在職された方 三本松 成田源一郎

○ 10年以上在職され、市区長会役員を1期以上務めその職を退任された方 下大和町 小林 正一

○ 市区長会役員を3期以上務めその職を退任された方 下大和町 小林 正一

○ 3期以上在職された方

- |          |     |    |
|----------|-----|----|
| 博労町三丁目   | 小林  | 義隆 |
| 東栄町二丁目   | 和泉  | 雅  |
| 栄町中三丁目   | 石田  | 高俊 |
| 馬場四之豎町   | 鈴木  | 充彦 |
| 馬場下五之町   | 伊久夫 | 朋幸 |
| 大町二丁目一之区 | 堀   | 義昭 |
| 当麻町二之区   | 島見  | 信一 |
| 西名子屋町    | 石川  |    |
| 高橋       |     |    |



## 区長会感謝状

- |                  |      |     |     |       |       |        |         |        |     |      |      |    |     |    |     |    |    |       |
|------------------|------|-----|-----|-------|-------|--------|---------|--------|-----|------|------|----|-----|----|-----|----|----|-------|
| ○ 10年以上在職し退任された方 | 上野伏町 | 本郷町 | 大工町 | 新横町横丁 | 七日町中央 | 北小路二丁目 | 桂林寺町三丁目 | 桂川町上之区 | 大川町 | 鍛冶屋敷 | 飯寺十区 | 湯本 | 戸ノ口 | 原田 | 稻荷原 | 小林 | 洋一 | 弘康    |
| 佐藤 渡邊            | 佐藤   | 菊地  | 田村  | 永田    | 小林    | 赤城     | 芳秀      | 一朗     | 宏文  | 健次   | 清    | 正一 | 寛一  | 明  | 芳賢  | 古川 | 町野 | 古川    |
| 真宮新町北            | 佐藤   | 菊地  | 田村  | 永田    | 小林    | 赤城     | 芳秀      | 一朗     | 宏文  | 健次   | 清    | 正一 | 寛一  | 明  | 芳賢  | 正人 | 紳  | 修一    |
|                  | 一朗   | 宏文  | 健次  | 清     | 正一    | 寛一     | 明       | 芳賢     | 弘康  | 修一   | 清    | 守  | 晃   | 明  | 芳賢  | 弘康 | 洋一 | 真宮新町北 |
|                  | 佐藤   | 菊地  | 田村  | 永田    | 小林    | 赤城     | 芳秀      | 一朗     | 宏文  | 健次   | 清    | 正一 | 寛一  | 明  | 芳賢  | 正人 | 紳  | 修一    |

- |             |     |     |
|-------------|-----|-----|
| 博労町三丁目      | 小林  | 義隆  |
| 馬場名子屋町      | 岡部  | 良秀  |
| 南横町         | 加藤  | 一郎  |
| 徒之町         | 猪井  | 新一  |
| 城前三之区       | 小森  | 秀一  |
| 豊岡町         | 目黒  | 則雄  |
| 馬場下三之町      | 齋藤  | 靜子  |
| 馬場下五之町二之区   | 小松  | 典夫  |
| 西名子屋町       | 石川  | 義昭  |
| 鍛治屋敷        | 岩田  | 清一  |
| 吉田          | 江川  | 辰也  |
| 天神城南区       | 小椋  | 功   |
| 黒岩大坪東区      | 芳賀  | 敏晴  |
| 千石ニュータウン第三区 | 加藤  | 榮一  |
| 下居合         | 渡部  | 和俊  |
| 飯盛第三団地      | 小林  | 幹於  |
| 石村          | 遠藤  | 三紀夫 |
| 上雨屋         | 二瓶  | 一廣  |
| 高坂          | 佐藤  | 耕平  |
| 石原          | 古田  | 貞雄  |
| 麻生新田        | 多田  | 幸栄  |
| 金屋          | 長谷川 | 勝   |
| 大野原         | 五百川 | 隆雄  |
| 六軒          | 芥川  | 重樹  |
| 柏原          | 大竹  | 秀明  |
| 京手          | 瑞夫  |     |

全国自治会連合会表彰

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、令和7年10月23日全国自治会連合会より、次の方々が表彰されました。

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、令和7年7月11日に開催された福島県自治会連合会定期総会において、次の方々が表彰されました。

福島県自治会  
連合会表彰



## 全国自治会連合会表彰者



福島県自治会連合会表彰者

# 部会紹介

## 総務部会の

## 活動について



総務部長 春日部一 視  
(高野町区長会 会長)

令和7年10月30日、市長との対話集会が、市民ホールにおいて開催されました。

区長の出席は、49名でした。市当局からは、市長ほか、関係部長及び副部長5名、来賓として市議会から、議長、総務、文教厚生、産業経済、建設の各委員長、副委員長5名のご出席をいただきました。



## 市長との対話集会

り様々な質疑が出され、活発な意見交換、市長より補足説明があり、とても有意義な時間でした。

なお、令和7年度各地区の要望事項は次のとおりです。

①東山地区 早急な小・中学校体育館に空調設備設置について、「Free WiFi」環境整備促進と設置施設に「Free-WiFi」設置表示について

②神指地区 神指城址の史跡指定に向けての周辺環境整備について

③湊地区 一人暮らし高齢者へ有料ゴミ袋の無料配布について

④日橋・八田・堂島地区 小・中学校敷地内の草刈りについて

⑤鶴城地区 大規模災害発生に備えた避難道路建設について

⑥謹教地区 湯川・古川の土砂・樹木の除去について

⑦高野地区 会津大橋から阿賀川橋（阿賀川にかかる新橋梁）までの阿賀川右岸の氾濫・河岸浸食防木の伐木要望について

⑧門田地区 門田地区を流れる蟹川と堀川の護岸の整備と雑木と杉木の伐木要望について

⑨一箕地区 会津都市計画事業扇町土地区画整理事業に係る市道都市計画路線藤室鍛冶屋敷線整備について

## 教養部会の

## 活動について



教養部長 丸茂直樹  
(鶴城地区区長会 会長)

●新任区長研修会  
6月25日(水)

会津若松市文化センター

參 言 18  
目 頃 ..  
著 30  
序 ..  
1 19  
2 ..  
名 45

参加者1119名

新任区長を対象に市補助金制度の説明などの研修会を開催しました。

## ●会報の発行

いて  
⑪大戸地区　道の駅の設置につ  
路(市道幹I-28号線)の早期整備  
推進について

定しております。

## ●先進都市研修視察（宇都宮市、常総市、つくば市）

今年度持ち回り当番の9地区より原稿の提出をいただきました。ありがとうございます。区長会会報第90号の発行にご協力賜り、重ねてありがとうございました。

日常ににおける地域のコミュニティ活動や町づくりの推進、特に今年度は防災意識をより高めるために、防災の先進都市常総市根新田町内会様、栃木県防災館様、国立研究開発法人防災科学技術研究

2名にアンケートを実施し418名の方々から回答を得ております。さらに、今年度に参加された29名の方々からも新たにアンケートを取りました。時の流れの中でどのような在り方が望ましいか、大きな転換期を感じております。





先進都市研修視察

## 厚生部会の活動について



厚生部会長 佐藤 晃一  
(城西地区区長会 副会長)

さらに多くの品物を提供していた  
だいたい皆様のおかげで今年度は  
1,102点が出品され136,2  
00円の売り上げを得ることがで  
きました。皆様のご協力に厚く感  
謝申し上げます。

この売上金は社会福祉向上のた  
め、会津若松市社会福祉協議会に  
全額寄附致しました。この他、厚  
生部会では次の事業を行っており  
ます。①環境美化推進事業への協  
力②間口清掃のP.R.③ゴミ分別  
回収への協力④環境保全への協  
力⑤健康増進への協力⑥社会福  
祉事業への協力、これらの事業を  
通して地域の生活環境向上などに  
協力してまいります。今後とも皆  
様のさらなるご支援をお願いいた  
します。

厚生部会が行う事業として、環  
境美化推進事業への協力（クリー  
ン鶴ヶ城作戦への協力、全市一斉  
清掃事業の推進）を毎年4月に実  
施しております。

また、昨年の10月25日（土）には  
第33回環境フェス夕 in あいづが  
「私たちが今できること×環境ア  
クション」のスローガンのもと、  
鶴ヶ城体育館で開催されました。

環境フェス夕は市民の皆様に環境  
保全への関心を高めていただくこ  
とを目的に毎年開催され、厚生部  
会が中心となり、毎年行っている  
チャリティーバザーに参加しまし  
た。バザーを通してゴミ削減と環  
境保全に貢献します。

何ヵ月も前から準備していただ  
いた各地区区長会の皆様、前日の  
準備や当日の販売員としてご尽力  
していただいた厚生部委員の方々、



チャリティバザー

## 産業部会の活動について



産業部会長 鈴木 敏勝  
(神指地区区長会 会長)

### ●会津まつり「会津藩公行列」について

9月20日に開催された会津藩公  
行列に会津若松市区長会として、  
玄武隊に扮し12名で参加させて  
いただきました。昨年は雨模様でし  
たが、今年は最後に少し雨が降る  
程度で、楽しく行進できました。

沿道の方々から励ましの言葉や応  
援をいただき、疲れも吹っ飛び頑  
張ることができました。又、「昔は  
白虎隊」と声をかけて頂き笑いに  
包まれました。

私は、産業部長として、会津ま  
つり実行委員会行列班副班長を仰  
せつかり、準備の段階から参加し、  
警備や、ボランティアスタッフ集  
め等、協会の皆様のご苦労があつ  
て、行列が成功したと思います。

### ●産業部研修会について



産業部研修会

10月17日産業部会の研修会が行  
われ、15名の参加で、磐梯町の慧  
日寺資料館の見学と、講演では、  
慧日寺の歴史と史跡整備計画につ  
いて講師の白岩館長に講話をして  
いただきました。会津地方に平安  
時代から続く貴重な史跡で、大変  
勉強になりました。

次に、天鏡株式会社（旧榮川酒  
造）で、ウイスキー造りについて、  
創業者の熱い思いについて説明を  
していただき、工場見学をしまし  
た。地元の材料を使用することで  
地元の産業にも貢献していただき、  
新しい産業になっていくと思いま  
した。

最後に、皆様のご協力により、  
大変有意義な活動、経験をさせて  
頂きありがとうございました。

## 各地区の活動紹介

### 花火大会を終えて



鶴城地区天神町町内会  
区長 宮森 浩

今年7月、鶴城地区区長会主催による鶴城地区花火大会を開催して、多くの市民の方々にご観覧を頂いた。元々、毎年鶴城地区では子ども会育成会主催による花火大会を開催してきたが、子ども会員の減少などから令和5年を最後に終了した経緯がある。50年以上も続いてきた花火大会をそのまま終わらせるのは、非常に残念であるとの意見が多数寄せられ、今回の開催となつた訳である。

打ち上げた花火



### 大町三四之豊 町内会について

城北地区大町三四之豊町内会  
区長 芳賀 郁雄

さて、花火大会を開催すると一言で言つても、何から手を付けて良いものかと不安の中でのスタートであった。関係各所への届出などさまざま手続きがあり、大変な苦労の連続であった。しかしながら

行政区内には一軒だけ空き家があります。所有権者が不明で、老朽化が激しい事から倒壊の恐れがあり、通行に危険を及ぼす事から、関係各所と協議の上、早急な対応を要します。

私の住む町内会は、会津若松市の中心部の南北にある大町通りの中ほどに面した大町三四之豊町内会

材木町三丁目町内会は、会津若松市の西南部に位置しております。古くは会津西街道から若松城下への出入り口でした。



城西地区材木町三丁目町内会  
区長 佐藤 善美

### 「町内夏祭りの復活」について



大町通り歩行者天国

ら、子ども会育成会の元会長を初め、多くの皆さんのご協力をいただき、何とか第1回目の開催を迎えることができた。当日は、天気も心配しながらの開催であったが、天気に恵まれ、また700人以上の観覧者も集まり、大盛況の内に無事終了することができた。1発目の花火が上がった時は感無量であった。来年以降も続けて開催して、市民の楽しい笑顔を見たいものである。最後に、紙上を通じて、ご協力を頂いた方々に改めて御礼を申しあげる。

令和3年度に大町通りの美装化が完工し、車道が散水式消雪歩道は無散水式融雪となりました。雪掻きの回数と量が減った事は高齢化が進む住民・行政区長共に安堵しており、今年2月4日から10日間止む事無く降り続いたゲリラ豪雪では、他の行政区よりも早く通行の安全が確保出来ました。人通りが多い町内会ですので、ゴミの不法投棄事案が稀に発生します。可燃物の収集日に不燃物が出ていたり、指定された物以外の不燃物を出されて対応に苦慮しており、ゴミ袋の有料化と共に、ますます懸念される案件が増えそうです。

会です。旧三ノ町北側から旧四ノ町ら北側の区域住民で構成される事が町名の由来となっております。町内会の行事としては、全市一斉の清掃参加と大町通りに面している行政区の為、毎年5月5日の歩行者天国に参加して、まちなかの賑わい創出と活性化に協力しております。

私が、当町内会の区長に就いたのは、コロナ感染症発生の令和2年4月でした。就任後2年間は町内の諸行事は、毎年1月に実施する「才の神」を除いてほとんどが縮小または中止にしておりました。町内最大のイベントの「町内夏祭り」も2年間中止にしておりましたが、コロナ禍の中、町内にも閉塞感が満ち活気のない状態でした。何としても町民の結束・一体感を取り戻すためには令和4年は何としても伝統的に開催されてきた「町内夏祭り」を開催することであるとして、町内の各機関（町内会・組役員・青壮年会・子供会育成会・顧問）との打ち合わせを重ね開催を決定しました。



町内夏祭り

あり、令和4年10月から「城西子供囃子会」を復活することができました。また、昨年からは「山車」のお囃子練り込みの練習を開始し、今年の「町内夏祭り」に披露することができます。お陰様で、城西子供囃子会には市内の団体からオファーが多くあり、子供たちも喜んで参加しています。

区長の役割は、先人・先輩が残してくれた伝統を守り保存すること

であると思いますが、次の世代に向けてそれを更新し続けることが最も重要なことだと思っています。

区長の役割は、先人・先輩が残してくれた伝統を守り保存すること

であると思いますが、次の世代に向けてそれを更新し続けることが最も重要なことだと思っています。

高野地区沼木町内会  
区長 菊地 國雄

## 高野町内会の紹介 沼木町内会

高野町は会津若松駅の北西部に位置し、明治26年栄和村の分裂で上高野に役場が設けられた事から高野村となつたそうです。

磐越自動車道会津若松インター アピオに近い地域にあり、水田が広がる純農村地帯で11の町内会で構成されています。

各区長とも月1回の定例会、年2回行うアジサイロード除草美化活動の他、各種団体の役員として8月上旬に永和小学校で行われる北地区夏祭り、11月上旬の北地区文化祭・高野地区ウォーキング大会等々で地区の活動を支えています。

沼木地区は高野町の東部に位置し、国道121号線と広域農道（会津パールライン）を挟む位置にあり、世帯数28で他に20数か所

の事業所があります。

町内会活動として、一戸一名の参加で5月に水路の一斉清掃、7月のアメシロ防除作業、年頭に総懇親会を催し町内の人たちとの結びつきを強くしています。また、事業として町内防犯灯のLED化を実施しました。

しかしながら、他地区と同様に少子高齢化は避けられず危惧しているところです。町内会活動を盛り上げるにはどうしたらいいか、チームワークの良い高野町区長会の皆さんと共に知恵を絞っていきたいと思っています。



北地区の地図

## 町内の現状



門田地区東年貢一丁目町内会  
区長 土屋 廣江



親子夜警体験

当町内会は、平成11年に第一年貢町内会から分かれ、東年貢一丁目町内会となり、26年目となりました。その間に平成21年に町内会発足10周年記念式典、令和元年に20周年式典を行い、今では世帯数も360世帯と市内有数の大規模町内会となりました。

● 事業  
・潤いのある地域づくり事業  
ア、80歳以上の方への慶祝事業  
イ、懇談懇親の集い  
ウ、子どもと大人の交流会  
この事業も令和2年の新型コロナ感染症拡大で中止となりました  
が、令和6年度より80歳以上の方への慶祝事業は復活しました。残念ながら他の事業は中止のままでです。



一箕地区八幡町内会  
区長 芳賀 誠子

一箕地区にある八幡町内会は、かつての八幡神社参道を中心とする、現在510世帯が会員となっています。代々受継がれてきた祭礼は、町内外から多くの人で賑わい、その賑わいが氏神様のご加護に繋がると宮司様に伺いました。

## 住み心地のいい まちづくり

● 地区自治活動団体  
平成15年に発足しました自警団は、夜警巡回、祭礼手伝い、夏休みの夜、拍子木をたたいて親子夜警体験、啓発活動と団員13名で活動しています。第一年貢子供会育成会もラジオ体操、八幡神社祭礼、提灯行列など、活動しています。これからは自主防災も視野に入れて町内皆様の協力を頂きながら住み良い町内会が出来ればと思っております。

また、来年度から始まるごみ処理有料化も大きな懸念事項です。収集トラブル防止やルールの周知など、ゴミステーションの管理も含めて重要課題と捉えています。今後も地域の皆様と連携を取りながら、役員の皆さんと共に、だれもが住み心地のいいまちづくりを目指して取り組んでまいります。



八幡町内会祭礼

近年の住宅開発により、歴史ある「才の神」が途絶えてしまつたことは残念ですが、若い世帯が増えたことには大きな期待があります。年々会員が減少している子供会ですが、保護者役員の皆さんが運営のデジタル化を進めながら、伝統の提灯行列への参加や町内行事への協力を通じて、異世代交流の要となつてていることは大きな喜びです。更に今年は会津大学短期大学部より地域交流の依頼を受け、学園祭に町内サロンが出店し、新しい人の流れが生まれました。また町内に住む会津大学生が祭礼に協

力してくれるなど、若い力を取り込めたことも嬉しい出来事でした。とはいって、扱い手不足は長期的な課題です。祭礼で24の組長・副組長が結集する際には、まさに「ドラフトチェックモード全開」となります。

## 湊地区の活動について



湊地区赤井町内会  
区長 佐藤 喜美



赤井の大イチョウ

湊町は、猪苗代湖西岸と背炙り山に挟まれた旧白河街道（国道294号線）に沿った地域であり、稲作中心の農村集落16行政地区601世帯・人口1,404人にて構成されております。四季折々の風光明媚な地域であり、自然遺産

でありますラムサール条約湿地登録の猪苗代湖に飛来するオオハクチョウや赤井の大イチョウ、歴史的古い由緒ある神社等が点在している里山であります。

湊町区長会は、保健委員会、環境美化、防犯水難防止、ふれあいまちづくりの四つの専門部会を有し、住みよい街づくりを目指して取り組んでおります。

令和7年度の湊地区の行事としては、町民運動会・敬老会・文化

祭等を通年どおり開催することが出来ました。また、地域活性化の要であります子ども達の行事にも積極的に参加を促し、しらとり保育園や湊学園の学習発表、子ども育成会の球技大会等を支援したところです。

湊地区的特徴的な取り組みとして、高齢者への交通弱者支援事業（みなとバス）や生活支援等も創意工夫を凝らして全力で事業を展開しております。

## 藤倉町内会について

日橋地区藤倉町内会  
区長 目黒 俊則

藤倉町内会は、南北に広がる河東町の南端に位置し、猪苗代湖水の恩恵を受け育んで来た22戸程の小さな故郷です。史跡等は多く、800年頃に創設されたと伝えられる延命寺や、佐原義連の孫で藤倉二郎盛義の館跡（現在は民家）、源義経ゆかりの皆鶴姫伝説があり墓碑が鎮座しています。皆鶴姫祭りは毎年8月下旬に開催されます

が、今年からは会津若松市皆鶴姫祭りとなり、室井市長御参列のもと墓前祭が厳粛に取り行われまし

た。古より歴史とロマンが漂う町です。

しかし、少子高齢化が進み、人口、戸数共に減少し、課題が浮き彫りとなっています。若者が就職や結婚等を機に故郷を離れることが一因と考えられます。今では高齢者のみの世帯が増え将来に不安を抱えています。

## 代田組について

植え、史跡や川の清掃、樹木剪定等々の通年で汗を流し、町民や若者が暮らし易い町づくりの一助になればと心がけ取り組んでいます。

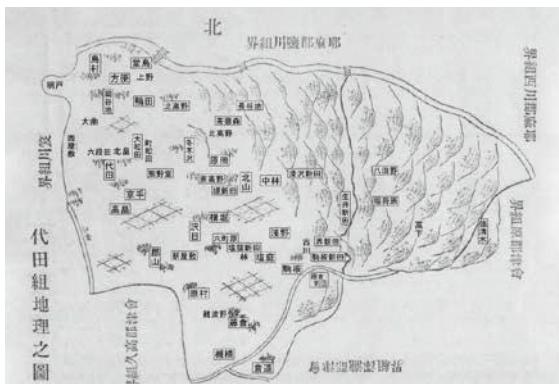


皆鶴姫の碑



堂島地区京手町内会  
区長 芦名 光義

河東町は、平成17年11月に、会津若松市に編入されました。さかのばれば、明治22年に、町村制の



代田組の地図

施行により、堂島村が8村の区域をもつて、同じく日橋村が7村の区域をもつて発足しました。その後、昭和32年、日橋村と堂島村が合併し河東村が発足、昭和53年、町制施行して、河東町となりました。それ以前、江戸時代においては、文化6年（1809年）に編纂された、「新編会津風土記」にありますと、当時は、河沼郡代田組という記載があります。代田組上17箇村は現在の堂島地区に当たり、総戸数は368軒。代田組下23箇村は現在の日橋、八田地区に当たり、総戸数は396軒とあります。上下箇村ともほぼ現在の大字地名と同じ地名が見られます。200年ほど昔のことです、現在は

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	監	会	会	副会長
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	事	計		
佐藤	志賀	梅原	佐藤	伊藤
小田切	徳昭	康毅	岩渕	宮城
忠仁	等	洋	渡部	成田源一郎
喜美				（北会津）
（日）	（城）	（門）	（謹）	（東）
（湊）	（北）	（田）	（行）	（山）
（新）			（西）	（箕）
（仁）				
（教）				

本会の会長・副会長・会計・監事をご紹介いたします。  
(任期：令和8年4月の定時総会まで)

## 役員紹介



湯川村との境界の地区の地名として残っているだけで、昔を偲ぶ史跡もありませんが、私の家の北側に昔あった水路の脇に四角い石碑があり、亡くなつた父が、代田組の石碑だと言つていた覚えがあります。それが記憶に残つております。今回、地区の歴史を振り返り、一講をまとめました。



総務部会では、会報の編集を行いました。今後とも区長会の発展に、ご協力をよろしくお願いします。（総務部副部長 芦名光義）

## 編集後記

令和7年度区長会会報  
第90号編集者

会	副	会	長	成田源一郎
務	務	部	長	（北会津）
部	部	委	員	室井榮之助
委	委			（謹）
員				芦名光義
				（堂）
				渡部登三男
				（行）
				内藤陽一
				（教）
				青木正明
				（野）
				伊澤渡部
				（高）
				（東）
				山

（会報発行責任者）  
春日部一視  
（謹）  
室井榮之助  
（謹）  
芦名光義  
（堂）  
渡部登三男  
（行）  
内藤陽一  
（教）  
青木正明  
（野）  
伊澤渡部  
（高）  
（東）  
山



編集者写真

